

報道機関 関係者の皆様へ

北海道科学大学は「私立大学研究ブランディング事業」に選定されました！

北海道科学大学は平成29年度 文部科学省「私立大学研究ブランディング事業」に選定されました。この事業は、学長のリーダーシップの下、大学の特色ある研究を基軸として、全学的な独自色を大きく打ち出す取り組みを行う私立大学等に対し、経常費・設備費・施設費を一体として重点的に支援されるものです。

事業の実施体制と事業内容の審査が総合的に行われた結果、188校の申請の中、計60校(タイプA:33件、タイプB:27件)が選定され、本学はタイプAに選定されました。

- タイプA「地域の経済・社会、雇用、文化の発展や特定の分野の発展・深化に寄与する研究」
- タイプB「先端的・学際的な研究拠点の整備により、全国的あるいは国際的な経済・社会の発展、科学技術の進展に寄与する研究」

平成28年度から公募が開始された事業ですが、タイプA、タイプB合わせて本学は道内で唯一「私立大学研究ブランディング事業」に選定されました。

【事業名】

北国生活環境科学拠点～積雪寒冷地域における医社工連携をとおした超高齢社会対応のための技術展開と普及～

【事業概要と期待される研究成果】

本学は1967年に工科系大学として開学、その後、社会科学及び医療系分野を充実させ、積雪寒冷地域対応の高度な教育・研究機関として発展してきた。これを基盤として本学にある4つの研究所が研究テーマを持ち、本事業では「北国高齢社会の生活カウンセラー(北国生活環境科学拠点)」を確立し、「地域共育力」の向上を目的とする。

- ① 「寒地未来生活環境研究所」スマート住宅におけるウェルビーイング・サポートサービスの開発
- ② 「寒地先端材料研究所」積雪寒冷地生活をサポートする医療用装具の安全性・耐久性向上
- ③ 「北の高齢社会アクティブライフ研究所」クラウド型遠隔ヘルスリハビリテーションシステム開発
- ④ 「北方地域社会研究所」研究メゾット構築

①～③が本事業の主たる研究テーマであり、④の「北方地域社会研究所」が3つの研究で開発される技術の適合地域の検討やそのためのメゾット構築することを目標とする。

